

# 平成27年 死亡災害発生事例

確定版

番号	発生月	発生時間帯	業種	事業場規模	災害発生のあらまし	事故の型	起因物
1	1月	15時	産業廃棄物処理業	1～9人	産業廃棄物処理工場において、排ガス冷却装置の不具合の調査中、熱湯となっていた排ガス冷却装置の冷却水を浴びて全身熱傷を負った。	高温・低温物のとの接触	その他の装置、設備
2	1月	9時	商業	10～29人	マンションの管理人である被災者が、一人で脚立に乗って蛍光灯(2階廊下天井)を交換している途中で脚立より転落(推定)、管理人室に戻って来た時に頭の痛みを訴え、そのうちに気分が更に悪くなり、救急車で病院に搬送されたがその後死亡した。	墜落、転落	はしご等
3	1月	0時	製造業	30～49人	恒常的な長時間労働、仕事上のクレーム対応等、業務負荷が著しく過重となった状態が続き、自室で死亡しているところを発見された。	その他	起因物なし
4	2月	6時	商業	50～99人	深谷市内の市道交差点で、新聞配達のアルバイトの被災者が運転するバイクと4トントラックが出会い頭に衝突し全身を強く打って、搬送先の病院で死亡が確認された。	交通事故	バイク
5	3月	11時	建設業(その他)	10～29人	橋の塗装が終了したため、つり足場を解体する作業中に被災者が水面から2.5メートルの高さにおいて足場材を取り外し、橋の上にいる同僚に単管を受け渡す作業を行っていた際、足場から川に墜落し、溺死したもの。	墜落、転落	足場

## 平成27年 死亡災害発生事例

確定版

番号	発生月	発生時間帯	業種	事業場規模	災害発生のあらまし	事故の型	起因物
6	3月	9時	建設業 (機械器具設置 工事)	10～29人	天井クレーンの修繕工事において、クラブトロリの脇で修繕箇所動作確認をしていた被災者が、横行したクラブトロリの給電用ブラケットとガーダ上の給電レール支持箇所との間に胸部をはさまれたもの。	はさまれ、巻き 込まれ	クレーン
7	3月	18時	建設業 (電気工事通信 業)	10～29人	被災者は、工事現場からの帰りに翌日使用予定の高所作業車をリース会社に寄って借り、これを運転して会社へ戻るため運転中、高さ制限のある陸橋下を走行していた際、作業車上部がボックスカルバートに激突し、その反動でハンドルに胸部を強打した。	交通事故	高所作業車
8	3月	9時	陸上貨物運送 業	50～99人	国道6号線を取手方面から土浦方面に2トントラックで食品運搬中、センターラインを越えて対向車(10トントラック)と正面衝突した。被災者は、車両から投げ出されて死亡。	交通事故	トラック
9	3月	14時	製造業 (金属製品製造 業)	10～29人	工場で製造した金属製の扉を現場で取り付けようとしたが、寸法が合わなかったことから一度工場へ戻り、再加工後に再び一人で現場へ戻っていたところ、仰臥位で心肺停止となっている状態で通行人に発見された、労働時間が長時間及び長期間に及んでいた。	その他	起因物
10	4月	17時	建設業 (建築)	1～9人	幼稚園建替え工事において、防音パネルの設置を行う作業に従事していた被災者が、1F屋根上で防音パネルの受け渡しをしていたところ、足を滑らせ、屋根妻側端部より墜落したもの。	墜落、転落	屋根、はり等

## 平成27年 死亡災害発生事例

確定版

番号	発生月	発生時間帯	業種	事業場規模	災害発生のあらまし	事故の型	起因物
11	4月	9時	建設業 (建築)	10～29人	被災者が屋根補修作業の一環として2人1組で鉄骨取り付けの準備作業である水糸張りの作業を行っていた際、蓋付きの冷氣取り入れ用の機器の挿入口の上に乗ったところ、蓋が開き、約9メートル下の地上に墜落したものの。	墜落、転落	開口部
12	4月	8時	建設業 (建築)	1～9人	屋根の張り替え工事において、被災者が下地材に固定されていない屋根材の上に乗った結果、当該屋根材(スチール製)とともに、約5.2メートルの高さからコンクリートの床に墜落した。	墜落、転落	屋根、はり等
13	4月	18時	陸上貨物運送業	10～29人	会社の駐車場の14t積みトラック荷台脇で、頭から血を流して倒れているところを発見したもの。 荷の積みつけを直す作業中、トラックの荷台から転落したと推定される。	墜落、転落	トラック
14	5月	12時	建設業 (土木)	1～9人	民有地での伐倒作業現場において、被災者がチェーンソーを使用して伐倒した木が途中で折れ、折れた伐倒木が被災者の胸部に激突した。	激突され	立木等
15	7月	11時	建設業 (土木)	30～49	下水管敷設のため、深さ1.8m、幅1.2mの溝をドラグショベルにより掘削中、被災者が溝の中に入りまもなくして被災者の背中側が深さ1.4m、幅0.5m、長さ2mに亘って崩れ、腰ぐらゐまで土砂に埋まった。	崩壊、倒壊	地山、岩石

# 平成27年 死亡災害発生事例

確定版

番号	発生月	発生時間帯	業種	事業場規模	災害発生のあらまし	事故の型	起因物
16	7月	12時	建設業 (機械器具設置 工事)	1~9人	移動式クレーンにて、解体されたコンベヤーの鉄骨架台をつり上げている途中、被災者が鉄骨架台の下に立ち入ったところ、玉掛用具の繊維ベルトが切断し、鉄骨架台が落下し被災者に激突したもの。	飛来、落下	玉掛用具
17	7月	14時	製造業 (その他の土石 製品製造業)	1~9人	被災者が研削盤を用いて、カーボン製品(縦20センチ、横8センチ、厚さ1センチの板状もの)の厚みを薄くするために、研削と石の側面を用いて研削作業を行っていたところ、と石が破裂。と石の破片が製品のいずれかが被災者の胸を直撃した。	飛来、落下	研削盤、バフ盤
18	7月	13時	建設業 (その他)	1~9人	宅地造成工事現場において、クレーン機能付き油圧ショベルを使用し、仮設用敷鉄板(縦3.0m、横1.5m、重量802kg)をトラック(4t)に積み込む作業を行った際、敷鉄板が吊り具から外れ、トラック近くで左官作業をしていた被災者に落下した。被災者は当該敷鉄板と隣接するブロック塀との間に挟まれ死亡した。	飛来、落下	玉掛用具
19	7月	16時	建設業 (その他)	50~99人	最高気温35度を超える中、1時間おきに休憩をとり、木造家屋解体工事に従事していたが、午後4時の休憩の際、意識が朦朧としているところを救急搬送され約3時間後死亡した。	高温・低温の物 との接触	高温・低温環境
20	8月	15時	建設業 (土木)	10~29人	河川の堤防等の維持修繕等を行う工事現場において、自走式草刈機に搭乗して、法面の草刈り作業を行っていた被災者が、自走式草刈機の機体前方にある草刈り部に巻き込まれて死亡した。	はさまれ、巻き 込まれ	その他一般動 力機械

## 平成27年 死亡災害発生事例

確定版

番号	発生月	発生時間帯	業種	事業場規模	災害発生のあらまし	事故の型	起因物
21	8月	16時	建設業 (その他)	1～9人	個人住宅の解体工事現場において、被災者がアルミサッシ(ガラスが入っていた)をフレームごと取り外していたところ、アルミサッシに入っていたガラスが割れ、その一部が被災者の左前頸部(頸動脈)を切創したもの。	切れ、こすれ	建築物、構築物
22	8月	16時	その他	10～29人	新潟県内で作業を終え、埼玉県内の自宅に向かうため社用車のワゴン車を運転中、高速道路のトンネル内上り車線において、車線規制を知らせるための標識車両に追突し、停車していたところ後続車に衝突された。	交通事故	トラック
23	8月	5時	商業	10～29人	原動機付自転車で新聞配達を行っている途中で、市道交差点に差し掛かったところ、左方より直進してきた軽自動車と衝突、被災者は胸などを強く打って死亡した。	交通事故	乗用車、バス、バイク
24	9月	8時	産業廃棄物処理業	1～9人	被災者が仮置き場で廃棄物の中から段ボールを選別し、これを機械式ごみ収集車の投入口に投入する作業をしていたところ、誤って、機械式ごみ収集車の押込板に巻き込まれた。	はさまれ、巻き込まれ	その他の動力運搬機
25	9月	9時	製造業 (その他パルプ・紙・紙加工品製造業)	10～29人	古紙の圧縮・梱包を行う機械に付属するベルトコンベヤー付近の床面で倒れている被災者が発見された。被災者は、ベルトコンベヤーの側板に付着した古紙を木の棒を使用して取り除く作業中、高さ4メートルの点検台から墜落したものと推定される。	墜落、転落	作業床、歩み板

## 平成27年 死亡災害発生事例

確定版

番号	発生日	発生時間帯	業種	事業場規模	災害発生のあらまし	事故の型	起因物
26	10月	10時	製造業 (化学工業)	10~29人	被災者が、溶媒仕込みのため、酸素濃度が約10%の反応釜に、有機溶剤をドラムポンプで投入していたところ、同反応釜の投入口に上半身を入れ、死亡したものの。	有害物等との接触	有害物
27	10月	5時	陸上貨物運送業	30~99人	配送先の敷地内において、荷の下敷きになっている被災者が発見された。被災者は積み荷をトラックから降ろす作業中であった。	墜落、転落	トラック
28	10月	5時	陸上貨物運送業	10~29人	事業場から茨城県内の会社へトラックにて荷物を運送する途中、交差点を右折したところトラックが横転し、信号支柱に衝突して、運転していた被災者は頸髄損傷のため死亡した。	交通事故	トラック
29	10月	11時	社会福祉施設	100~299人	当該社会福祉施設の年間行事である運動会において、競技種目の一つである後ろ向きで走るもリレーに職務として参加していた被災者は、後ろ向きで走り出したところ、間もなくして足がもつれ後ろ向きに転倒し、後頭部を床に強打して、脳挫傷等のため3日後に死亡した。	転倒	起因物なし
30	11月	12時	建設業 (建築)	10~29人	被災者は、現場事務所で打ち合わせ後、翌日の作業準備のため、会社の資材置場へ向かった後、資材置場付近のブロック塀に挟まった状態で、遺体で発見された。資材置場への運転中に誤って斜面から自動車ごと転落し、その勢いで体が車外に投げ出され、ブロック塀に挟まり動けなくなったと推定される。	墜落、転落	乗用車、バス、バイク

# 平成27年 死亡災害発生事例

確定版

番号	発生月	発生時間帯	業種	事業場規模	災害発生のあらまし	事故の型	起因物
31	11月	19時	派遣業	10～29人	事業場運転する送迎車両(事故時は帰宅する派遣労働者11名を乗せていた)が、災害発生場所の交差点で進行方向右側から侵入してきた軽自動車と衝突し、道路標識にぶつかった後で横転した。割れた窓ガラスから車両外に飛び出た被災者が横転した車両と道路に挟まれてた。	交通事故	乗用車、バス、バイク
32	11月	13時	製造業 (自動車整備業)	30～99人	キャリアカーのエンジンの整備を行うためにデッキ(荷台)の一部を動かしていたが、エンジンの整備が終了し前側上段デッキを元に戻す必要があった。被災者が前側上段デッキの落下防止用に挿した後方ロック部の安全ピンを抜かずに水平に戻す作業を行ったため、前側上段デッキが水平にならず、後方ロック部を被災者が外したことから前側上段デッキの後方部が跳ね上がり、後側上段デッキとの間に被災者の頭部が挟まれた。	はさまれ、巻き込まれ	トラック
33	11月	11時	商業	10～29人	配達のためトラック運転中、別の追突事故により追越し車線に停車中だった大型トラックに追突した。	交通事故	トラック
34	12月	11時	建設業 (その他)	1～9人	2階建て一般住宅の塗装工事現場において、被災者は2階屋根上で塗装作業を行っていたが、自らが塗った塗料を踏んで足を滑らせて転倒、屋根を滑り落ちて軒先の雪止めに引っ掛かり一度は止まった。しかし、被災者はその場で立ち上がり、躯体外部に設置してあった単管に飛び移ろうとしたが、単管を掴み損ない、養生シートを突き破って敷地外に飛び出し、約7m下の路面に墜落した。	墜落、転落	屋根、はり等
35	12月	13時	陸上貨物運送業	10～29人	荷待ちしていた被災者は、他車の荷台に積込中の巻取紙を固定するゴム製の歯止めが滑るのに気付き、同車の運転手とともに、荷台に背を向けて歯止めをコンクリート地面に擦り付けていた。このとき巻取紙は、別の歯止め1個と梃子棒で固定されていたが、何らかの理由で巻取紙が荷台から転がり落ち、被災者の背中から腰の辺りに当たったもの。巻取紙の重量は約800kg、荷台の高さは約1.4mであった。	飛来、落下	荷姿のもの